
カレイドスコープ

ロースト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カレイドスコープ

【Nコード】

N2612M

【作者名】

ロースト

【あらすじ】

うーん、ちょっと歪んでいる主人公の後悔、でしょうか。

カレイドスコープ

絶望しきつた瞳で君は笑う

君はいつまで僕のそばにいるの？

君は僕の世界の中心だけど、君の世界の中心は？

君という存在に僕は振り回される。

君という存在が僕を狂わせる。

僕は君を万華鏡に喩える。

その華麗さが僕を惹きつけ放さない。

その神秘さが僕の眼に焼きついてる。

些細な衝撃で貌かたちを変え、新たな姿に変わってく。

それでも僕を束縛するその性は変わりなく、

そのどれもが僕を雁字搦めに絡め取る。

雑多な欠片で構成される綺麗な様はその本質と違い、僕への枷
すべてが唯一で、等しいものなど他になく、またどこにもない。

僕を構成するのは君。君が僕の世界のすべて。

それ以上でもそれ以下でもなく。君だけ。

だから不意に知りたくなる。だからこそ壊したくなる。君を、僕の
世界を。

その脆さが僕の危うさを引き立てる。

けしかけて、壊して、そして新たに出来た君を愛し、そして繰り返
す。

壊して崩して、愛して。
そうやって君の僕への愛を確かめる。新たな君も僕を愛してくれるかな。

疑問を肯定にして返す君が好きだよ。
壊れて崩れて、泣いている君が大好きだよ。
そんな君に満たされる。
そのとき初めて僕は愛されていることを認識できる。
そんな君を愛している。

ほら、君はこんなにも僕を狂わせる。
だから君を壊したくて、壊したくて、その衝動を抑えられない。
だから僕は君をけしかけてた。

君が僕を愛してくれていることを知っているから。
こんな僕でも好きでいてくれるから。

だからそのときの僕は夢中で壊してた。
君の愛を疑うことなどなく、夢中で壊して崩して愛してた。

でも、やっと気づいた。
失って初めて気づいたんだ。
些細だったけど、確かにあった本当のヒビ

無限だと思ってた。
際限ないと思ってた。

でも、実際はどうだ。

永遠なんてなかった。
無限なんてなかった。

人の心が、弱いということを忘れてた。
人の心が、脆いということを忘れてた。

壊れたままになることがあるなんて、
……思っ
てなかつたか
ら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2612m/>

カレイドスコープ

2010年10月15日23時06分発行